

内村鑑三記念キリスト教講演会

コロナ禍のために、講演会を二年続けて休会としましたが、内村鑑三は「患難と恩恵」について次のように述べております。『患難のための恩恵にあらず、恩恵のための患難なり、患難は手段にして恩恵は目的なり、患難を以って始まり恩恵を以って終るなり、一つの患難は百の恩恵を招き、短き此の患難の世は永遠無窮の恩恵の世に終わる、・・・』(明治三十五年『聖書之研究』第二十九号「手段と目的」)

今回もお二人の講師をお招きして、内村鑑三が生涯かけて指し示した真理について学ばせて頂きたいと思えます。

最初の講師は石川県金沢市内の大学で教育に携わり、かほく市宇野気の集会で一九八四年から伝道が続けて来られた方です。次の講師は日本における明治期以降のキリスト教主義女子教育に関心をお持ちで、女子教育に半生を捧げて来られた方です。

会場は、東京・本駒込に新築した今井館です。講演に先立って、今井館教友会西永 頌理事長から新今井館の建設経緯、規模内装等の説明があります。皆様の御来聴を歓迎いたします。

司会 キリスト教待晨集会 山本 浩

講演

「内村鑑三先生の再臨信仰に学ぶーわたしのキリスト信仰の証」

うのけキリスト集会 鉢野正樹

「学校教育とキリスト教ー無教会の立ち位置」

国立聖書研究会 加納孝代

日時 二〇二二年三月二〇日(日) 午後二時～四時四五分(受付開始一時三〇分)

*講演終了後に「講師を囲む懇談会」を持ちます。(自由参加、五時～五時四五分)

会費 一〇〇〇円(学生五〇〇円) *申込みが必要です。

場所 今井館聖書講堂

〒一三〇〇二二文京区本駒込六丁目十一、十五

NPO法人今井館教友会(電話)〇三・六二七七・五六六九

*山手線「駒込」下車十分。

*駅頭に案内人は立っておりませんので、下記の地図を参考に、

会場へお出で下さるようお願いいたします。

*駐車場はありません。

主催 内村鑑三記念キリスト教講演会運営委員会

連絡先 森山浩二 〇三―三八六七―五三九五

申込み方法:往復はがきで、往信用には「NPO法人今井館教友会」宛(右参照)記入、返信用に申込者のご住所明記の上、ご投函ください。
定員六〇名―先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
締切 二月一八日(金)(必着)。

